

# 環境負荷及びその低減に向けた取組の状況

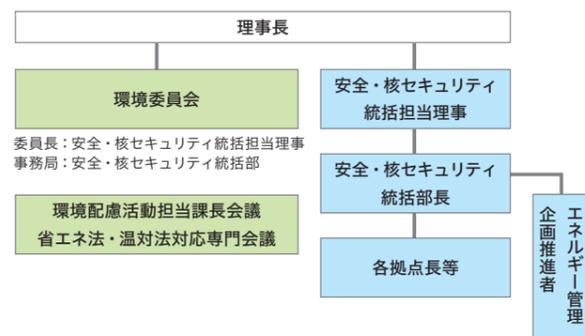
## 環境マネジメント

環境に配慮して事業を行うことは原子力機構の事業が社会に受け入れられるとともに、自らの周囲をより良い環境にすることでもあり、事業の効率化にもつながっています。

原子力機構では、事業運営にあたり環境への配慮を優先事項と位置付け、「環境配慮管理規程」を定めています。この規程に基づき、毎年度理事長が定める環境基本方針のもと、環境目標を定めて環境配慮活動に積極的に取り組んでいます。

また、環境配慮活動を推進するため、環境委員会や環境配慮活動に係る担当課長会議を設置する等、環境マネジメント体制を整備しています。

### 2017年度の体制



環境委員会での審議

年間を通しての環境配慮活動の概要を以下に示します。環境配慮活動の結果は環境委員会等で評価し、次年度の環境基本方針、環境目標に反映しています。

### 2017年度環境配慮活動の計画

主要実施項目	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境方針及び環境目標の策定と活動結果のまとめ	前年度環境目標の結果評価と環境委員会への報告						環境配慮活動実績評価とその結果を基にした次年度環境基本方針、環境目標等作成					
省エネ・温対法への対応	省エネ法、温対法の定期報告書等の作成・国への提出						方針・目標に基づいた環境配慮活動の推進					
環境配慮活動研修会							環境配慮活動研修会の開催					

### 2017年度環境基本方針

機構は原子力の総合的研究開発を進める国立研究開発法人として、原子力科学技術分野における研究開発成果の最大化に取り組むつつ、安全確保を最優先とした上で、我が国の将来のエネルギーの安定供給、資源の有効利用及び環境負荷の低減・環境汚染の予防などの地球環境の保全を図りつつ、原子力の総合的研究開発を推進する。

2017年度の環境配慮に係る活動にあたっては、以上を踏まえつつ継続的な改善に取り組むこととし、環境配慮管理規程等に基づき基本方針を以下のとおり定める。

- 環境への配慮を優先事項と位置付け、省エネルギー、省資源及び廃棄物の低減を図り、地球環境の保全に努める。
- 環境保全に関する情報発信を推進し、国民や地域社会との信頼関係を築くように努める。

### 環境配慮活動研修会の実施

原子力機構では、職員等を対象として各拠点等で推進している環境配慮活動の促進支援、活性化、スキルアップを図るため、毎年、外部の講師を招き環境関連法令遵守研修及び意見交換会を実施しています。



環境配慮活動研修会の講義風景

### 環境美化活動

環境配慮活動の一環として、各拠点でさまざまな清掃活動や植栽活動をしています。その一部を紹介します。



東海村春のクリーン作戦



クリーンアップ大洗



クリーンアップふくい大作戦



とっとり共生の森



原子力緊急時支援・研修センター茨城 緑化



道の駅「志野・織部」付近の植栽活動

### 2017年度環境配慮活動のまとめ

項目	環境目標	結果	評価
省エネルギーの推進	2013年度を開始年度とし2017年度末にエネルギー消費原単位を年平均1%以上削減、又は電気需要平準化評価原単位を2014年度を開始年度とし、2017年度末に年平均1%以上削減	・目標である5年度間のエネルギー消費原単位は年平均100.4% ・目標である5年度間の電気需要平準化評価原単位は年平均100.3% どちらも目標の99%に届かず	目標は未達成となった。エネルギー効率の良い機器への更新等を進め、省エネルギーに取り組む。
	電気及び化石燃料の効率的・効果的な使用の検討と推進	・電気使用量の対前年度比は102.2% ・化石燃料使用量の対前年度比は98.5%	電気使用量の増加は、実験施設における実験計画の進捗によるものである。その影響を除外すると、機構全体では対前年度比は同水準であり、良好である。
省資源の推進	・節水の推進	・水投入量の対前年度比は106.4%、過去5年度間の平均値との比は101.2%	過去5年度間の平均値と比較して投入量が増加した。更なる節水に取り組む。
	・コピー用紙の削減	・コピー用紙使用量の対前年度比は102.6%、過去5年度間の平均値との比は98.1%	過去5年度間の平均値と比較し減少していることから、良好である。
廃棄物の低減	古紙リサイクルを推進	・コピー用紙回収箱の設置、紙の種類ごとの分別回収の実施	設備の解体に伴い分別困難な廃棄物が発生したため再利用率は減少したが、再利用可能な不要物に対する再利用のための努力を継続して実施しており、良好である。
	分別回収を徹底するとともに有価物を回収	・不要物のうち、再利用した比率は51% (前年度は64%)	
環境保全に関する情報発信の推進	放射性廃棄物の低減を推進	・管理区域への不用品の持ち込み制限、最小限化の教育を随時作業者に対し実施 ・約10トンをクリアランス物として国の確認を受けた	放射性廃棄物低減につながる教育を実施し、クリアランスも確実に進めていることから、良好である。
	効果的な環境保全に関する情報発信方策の検討と推進	・本部・各拠点でイントラネットへ環境配慮活動情報を掲載	環境配慮活動の情報を分かりやすく掲載する等、良好である。

環境関係法令への対応については、大気汚染物質、放射性気体廃棄物等の大気放出、水質汚濁物質の排出、放射性液体廃棄物の排出、騒音・振動等の環境項目において規制基準を遵守し、規制値を超えた事例はありません

でした。これらのことから、原子力機構の事業活動は環境面において周辺環境に配慮する努力を行ったと評価しています。今後も環境に配慮した総合的な活動に継続して取り組んでいきます。

※ 環境配慮活動の詳細は原子力機構ホームページを御覧ください。  
[https://www.jaea.go.jp/about\\_JAEA/environment/](https://www.jaea.go.jp/about_JAEA/environment/)

環境パフォーマンス全体像 - 2017年度 -

INPUT

インプット

総エネルギー投入量



コピー用紙投入量



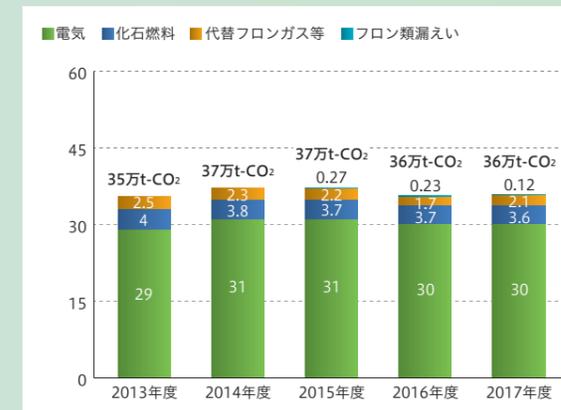
水資源投入量



OUTPUT

アウトプット

種類別による温室効果ガス排出量



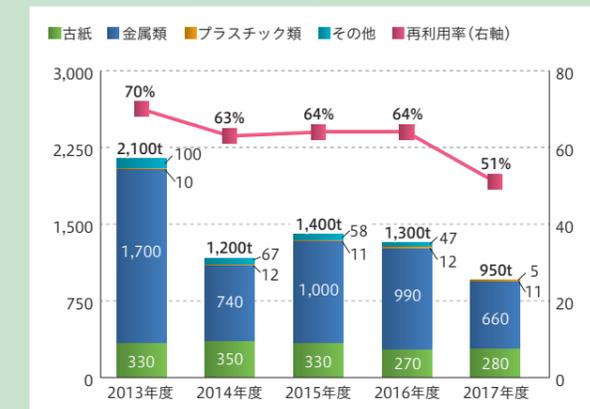
種類別による廃棄物排出量



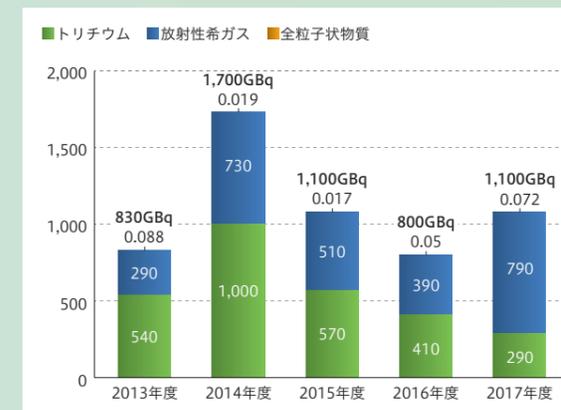
種類別による排水量



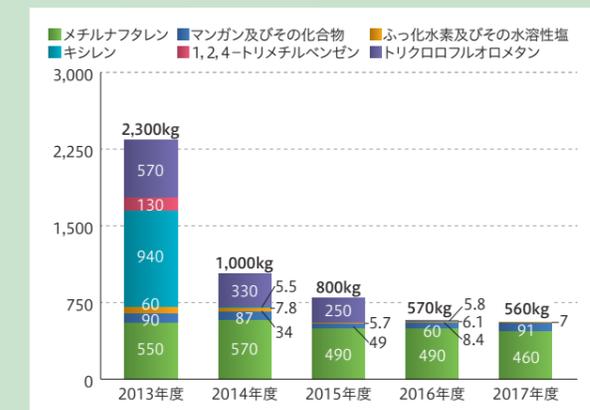
種類別による再生資源



種類別による放射性気体廃棄物の放出量



種類別によるPRTR法対象物質(排出量)



- ・一般廃棄物の焼却量 45t (2016年度 45t)
- ・PCB廃棄物の処分 240個 (2016年度 486個)
- ・建設資材リサイクル 2,800t (2016年度 2,200t)
- ・クリアランスの推進 10t (2016年度 20t)

※ 環境配慮活動に関するお問合せは以下のメールに御願いたします。  
E-mail/kankyo@jaea.go.jp  
※ 各グラフの合計については、端数において合致しないものがあります。

# 社会的な取組

## 社会貢献活動

原子力機構では社会貢献活動に積極的に取り組み、地域の皆様との相互理解を深めるさまざまな活動を全国の拠点で行っています。



幌延：第1回ほろのベ雪ん子まつり



青森：むつ市産業まつり



福島：福島県環境創造センター  
開所1周年記念イベント



東海：東海まつり

### 2017年度の主な社会貢献活動

#### 幌延

- ・おもしろ科学館2017 in ほろのべ
- ・ほろのべ名林公園まつり
- ・第1回ほろのベ雪ん子まつり
- ・北海道春と秋のクリーン作戦
- ・トナカイ観光牧場ノースガーデン  
フラワーボランティア

#### 大洗

- ・大洗町商工感謝祭
- ・大洗町民スポーツフェスティバル
- ・大洗町あんこう祭
- ・クリーンアップ大洗
- ・大洗町農産物まつり

#### 青森

- ・北通り地区盆踊り大会
- ・むつ市産業まつり
- ・青森研究開発センター周辺の  
清掃活動

#### 東濃

- ・第21回TOKI-陶器祭り
- ・おもしろ科学館2017inみずなみ
- ・サイエンスフェア2017
- ・土岐川(狭間川)河川清掃活動
- ・賤洞町内会草刈り

#### 福島

- ・福島県環境創造センター  
開所1周年記念イベント
- ・ロボットフェスタふくしま2017
- ・ならはならではゴミ拾い

#### 敦賀

- ・敦賀まつり、みはまナビフェス
- ・クリーンアップふくい大作戦
- ・笙の川クリーン作戦
- ・県道等清掃作業

#### 東海

- ・ひたちなか市産業交流フェア
- ・東海まつり
- ・勝田全国マラソン大会
- ・東海村春と秋のクリーン作戦
- ・久慈川水系一斉クリーン作戦
- ・外来生物除去作戦

#### 人形峠

- ・三朝温泉キュリー祭
- ・鏡野町産業まつり
- ・恩原高原氷紋まつり
- ・上齋原ふるさとまつり
- ・人形峠環境技術センター周辺の  
清掃活動



大洗：大洗町商工感謝祭



東濃：第21回TOKI-陶器祭り



敦賀：敦賀まつり



人形峠：恩原高原氷紋まつり